

# 総合的な学習の時間の実践

釧路市

総合的な学習  
5年

紙すき体験と地域企業との連携から

## 紙からのおくりもの

<http://www.fan.hi-ho.ne.jp/douseiren/>

この指導案は、上記のHPよりダウンロードすることができます



日常、様々な場面で使用している紙。紙をすくという活動を繰り返す中で、いろいろな気づきを生み出していきます。国語科や社会科などの教科の学びを生かし、近くにある製紙工場の方ともかかわりながら、子どもたちの視野を広げ、新たな疑問や気づきとあわせて、課題の質を高めていくことができます。

### 学習活動の流れ（22 時間）

牛乳パックからパルプを取り出し実際に紙を作ります。

紙すきの活動から、紙についての様々な気づきを交流し、今後の学習を考えます。

製紙工場の人に学校に来ていただき様々な交流をしたり、実際に工場見学に行ったりします。

これまでの学習を振り返り、より価値あることを見つけてみます。そして、さらなる追究活動が始まります。

#### 紙すき体験をしよう！（11）

- ・パルプを原料に紙すきをする
- ・紙の厚さや質にこだわったり、工夫したりする

#### 紙について調べてみよう（9）

- ・自分や友だちの気づきをもとに「小課題」をもつ

#### 紙を作っている人と工場（9）

- ・ゲストティーチャーの話を聞く
- ・製紙工場に見学に行く

#### もっと知りたい紙のこと！（46）

- ・これまでの学習を振り返り、気づきを整理する。
- ・気づきをもとにグループでウェビングマップをつくる
- ・交流から自分の興味関心を明らかにする

#### 知ろう！自然や環境のこと！（33）

- ・自然や環境問題も含め、広がった興味から課題を追求する
- ・追求したことを発表する

#### 学習全体を振り返ろう！（1）

北海道の東側に位置する港町、釧路。学校の近くに大きな製紙工場があります。

紙は子どもたちにとって便利で身近な存在です。その紙をいろいろな視点から見つめ直します。



紙から紙はできるか!?

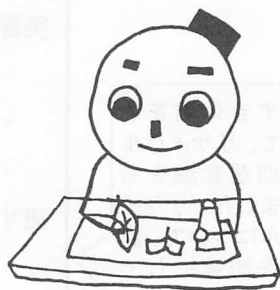
## 教材・活動の Point!

### 1. ものづくりの活動から、課題をもつ

課題意識を持たせるために、紙づくりをしていきます。何気なく使っている紙ですが、紙すきを繰り返す中で、作ることの難しさを感じ、原料、製造の方法、種類などの気付きを生んでいきました。課題が広がっていても、心に残る共通体験が追究のよりどころになっていきます。

### 2. 教科学習の学びを生かして追究を深める

国語科「見学したことをもとに」、社会科「工業生産を支える人々」「住みよいくらしと環境」、家庭科「不要品の活用や、ごみのしまつをしよう」などの学習と関連させ、学習を展開していきました。紙すきは、ものづくりの体験から学びを広げていくことのできる素材となります。



### 3. 地域の企業から姿勢や理念を学ぶ

活動の充実には、地域の企業とのかかわりも大切です。ゲストティーチャーとして協力していただき、工場を見学することで、子どもたちの視野が広がり、新たな疑問や気付きが生まれました。また企業としての地域や環境への配慮を感じることもできました。

